

令和6年 1月14日

# futbol y vida

Poco a poco ...  
Poco a poco ...



2024年 青森山田の**圧勝**でスタート!!  
冬の**“鍛錬期=試練”**こそが人を強くする!!

2024年 新年あけましておめでとうございます!!



進化する**“K's football style”**で、**龍**の如く空に昇っていく!!

新年あけましておめでとうございます!! 本年も宜しくお願い致します。

引き続き片倉高校サッカー部への応援&サポートを宜しくお願い致します。

さて、新年早々に石川県能登半島珠洲町を震源とする震度7の地震により北陸地方を含め多くの方が被災されました。亡くなられた方(221人、不明者24人 1/14 現在)にはご冥福をお祈りするとともに被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。未だに地震活動が続きしかも冬の寒さも加わり予断は許さない状況ですが一日も早く地震活動が収まり穏やかな生活が戻ることを祈っています。また、現地に派遣されて救助活動に当たられている方や医療従事者、ボランティア活動の方々に於きましてはくれぐれも健康に留意されて活動されるようことを願います。

2024 チームは、新年四日から遠藤コーチがお誘いを受けた「寒川招待」に参戦後、8日に高校サッカー決勝戦を「新国立競技場」で観戦しました。古今東西高校サッカー少年たちはこのピッチに立つことを夢見て日々トレーニングに励んでいます。本気でチャレンジしなければ届くことのできない聖地：『国立競技場』に、50期のチームは片倉高校サッカー部史上一番近づくことができました。普通のサッカー少年たちが集まる高校サッカー界では全く無名の片倉高校でも、時間を掛けて積み上げていけばできることを示すことができ、同時に中学生に夢を与えることができました。高い目標に挑むからこそ厳しいトレーニングは必要不可欠であり、その結果、形ではない多くのものを得ることができます(そちらの方が多いと思います)。いよいよ51期チームは**“鍛錬期第二弾(1月、2月)”**のトレーニングに突入しました。一年間で一番トレーニング強度が高く、負荷のかかる辛い時期ですが、ここを乗り越えてこそ新たな展望が見えてきます。強豪校や



伝統校と呼ばれているチームは、嘗ては当たり前のようにやっていました。今では、質の高いものを合理的に効率よく…とは言いますが、それはトップレベルでの話。ここに集まってくる子どもたちには当てはまりません。昨年度の結果は全てこの時期のトレーニング成果であると思っています。今年も目の前(現在)の厳しいトレーニングを乗り越えて先ずは四月の関東大会予選に繋げていきたいものです。

<圧倒的な強さで優勝した“青森山田高校”も雪中サッカーで鍛えた>

## 被災経験者だからこそ語れる “今、私たちがやれること”とは…??

1月2日（火）、全国高校サッカー三回戦柏の葉グラウンド（千葉）に現れた**星稜高校イレブン**。前日、能登半島を襲った地震の影響で応援団は出発中止となりメンバーだけで闘うことになりました。それでも地元（家族や仲間）が被災している中でピッチに立ちいつも通りにプレーすることは高校生にとって精神的に厳しい状況であったと察します。



<厳しい環境に果敢に立ち向かう星稜>



<対戦相手の市船もメッセージを送る>

しかし、その中で対戦相手の**市立船橋高校**や既に敗退した**日大藤沢高校**部員（黄色の袋を着て応援）、同会場の次のゲーム（**名古屋** VS **岡山学芸館**）のメンバー外の選手や保護者たち、**J3 福島**のサポーターやSNSで駆け付けた人たちおよそ200人による即席の「大応援団」を結成し、応援団不在の星稜高校サッカー部へ力強い大声援を送り、メッセージの書かれた「横断幕」を作り応援しました。ゲームの方は、優勝候補の一角である市立船橋相手に先制されるものの一度は追いつき会場は大変盛り上がりましたが、その後追加点を奪われ、残念ながら力及ばずに1-4で敗れました。

### スポーツの力は素晴らしい!!

能登半島地震の発生から24時間も経過しないうちに行われた三回戦。厳しい状況の中でもクリーンに全力を尽くした両チームの選手、そして、選手をサポートしたすべての人々に感謝と敬意を表したいと思います。星稜高校の選手の胸の内には、地元石川県にいる家族や仲間の安否、応援に駆け付けられない仲間たち…、心に色々な思いを抱きサッカーに集中することが困難な中でしたが、最後まで勇猛果敢に諦めずに闘い、走り続けました。星稜高校イレブンの健闘に対しにタイムアップ後の会場からは惜しみない拍手、SNS上ではたくさんのお応援メッセージが送られました。



<日大藤沢は黄色い袋と横断幕で!!>



<同点ゴールに会場は盛り上がる>

現地に行くことができない今私たちができることは、間接的にでも支援すること、つまり物資や義援金でまずは援助することだと思います。大きな団体や著名人のようにはいきませんが、何か小さなことでもできることを探してみませんか？この当たり前の日常に感謝して、一日一日を大切に生きていきたいと思います。

### <After the Game>

先日、子どもたちには年始恒例の「**片倉高校サッカー部 長期目的・目標設定シート**」を配布しました。自分たちが設定した「**2024年目的・目標達成に向けて**」、全ての基本となる日々の生活をどのように過ごしていくのかを記入し常に振り返られる（反省）ようにシートは設定されています。**「反省」とは、未来のために行うもの!!** 家で一番目につくところに貼るように指示をしたので、今年はどうのような目標を立て実行していくのか？見守り、叱咤激励して下さい!!